

HTML::Template を使用する cardlist の設計案

テーブルの出力に HTML::Template を使用し、柔軟な出力が得られるようにする。

■ 使用変数

row_num

行番号。表題の時は 0、その後 1 から始まり 1 ずつ増える。

row_odd

行番号が奇数の時 1、偶数の時 0 となる。

col_num

カラム番号。1 から始まり 1 ずつ増える。loop_context_vars で実現できるのでこれを有効にする事で解決する。

col_odd

カラム番号が奇数の時 1、偶数の時 0 となる。loop_context_vars で実現できるのでこれを有効にする事で解決する。

th

表題。カラムの表題として出力されている文字が入る。

label

ラベル名。cardlist などでは使われている、値を識別するための名前が入る。

value

表示すべき値。row_num が 0 の時は th と等しくなる。

■ 想定する HTML::Template の構造

- ・ テーブル開始
- ・ 各行出力ループ
 - ・ 各カラム出力ループ
 - ・ 各表題 or 各カラム値出力
 - ・ 各カラム出力ループ終了
- ・ 各行出力ループ終了
- ・ テーブル終了

表題も含めたループ構造とするため row=0 時は表題 (th)、それ以外は値 (td) 出力とする。

課題と今後の展開

- ・ 各行出力ループ段階では各カラムの値にアクセスできない。
- ・ %sortby_word% の実装と合わせ、bugtrack の出力を実現する。
- ・ 別ページに記入した複数の表とリレーションしてクラス付けができるようにする。